



今月の表紙
赤ちゃんハイハイ
選手権大会



9月20日(土)にJR今市駅前通りで、第16回全日本赤ちゃんハイハイ選手権大会が開催されました。これは、六斎市で行われるイベントの一つで、毎回多くの赤ちゃんが参加し、ハイハイの速さを競うタイムレースです。

この日は晴天の下、43名の赤ちゃんが参加しました。スタート前から泣きじゃくってしまったり、レースの途中で座り込んでしまったりする赤ちゃんが続出し、保護者が必死にあやしたり応援したりして、会場は笑いの渦に包まれました。

37秒のタイムでゴールし、見事優勝した荒井友心ちゃん(1歳)のお母さん、ちえ美さん(平ヶ崎)は「広報紙を見てこのイベントが面白そうと思い、参加しました。優勝したのは意外でびっくりしました」と驚いた様子でした。



9月15日(月・祝)、足尾の歴史や文化について体験するイベント「Want to you Know Ashioプロジェクト」が、日光青年会議所の主催で開催されました。

イベントには約80名が参加し、かつて東洋一の銅山の町として栄えた足尾の町をバスや徒歩で巡りました。参加者たちは、銅山の迎賓館であった古河掛水倶楽部や日本



で最初に電力を動力に応用した水力発電所跡、煙害と山火事で荒廃した松木溪谷などを見学しました。

また、各見学箇所では地元足尾中学校の生徒がガイドをしました。足尾キリスト教会前でガイドをした秋田和奏さん(足尾町)は、「自分たちが住んでいる足尾を知ってもらおう良い機会でした。楽しかったです」と話してくれました。



9月28日(日)、夏を思わせる陽気の中、第19回山のもの何でもござるまつりが、中三依ふるさと広場で開催されました。

ステージでは、三依保育園の園児と三依小中学校の児童生徒による子ども獅子舞や書道家で日光観光大使の涼風花さんによる書道パフォーマンスなどが行われました。

また、大根おろし競争やそばの早食い競争、チェンソーアートの



実演なども行われ、観客から大きな声援を浴びていました。

子ども獅子舞に参加した、阿久津大樹さん(三依中学校3年)は、「小学校1年生から9年間獅子舞をやってきました。お客さんに喜んでもらえるよう精一杯踊りました」と笑顔で答えてくれました。また「今年が最後なので寂しいです。もう少しやりたいです」とも話していました。

Want to you Know Ashio
プロジェクト

山のもの何でもござるまつり



9月6日(土)〜15日(月・祝)、鬼怒川・川治温泉で、日光四季祭・月あかり花回廊が開催されました。

会場では、鬼怒川小学校の児童などの地元の子どもたちが描いた絵を灯籠にした「みんなのあかり」の展示や、和楽器を中心とした「月あかりの音楽祭」などが行われ、幻想的な光景に、来場者は感嘆の声を漏らしていました。



当日は市内の他、宇都宮市や横浜などから21〜43歳の男女、計19名が参加しました。男性が順番にテーパーを回りながら2人で協力してそばを打ち、思い思いに会話を弾ませていました。



9月14日(日)、秋晴れの下ツール・ド・NIKKOが開催されました。このイベントは今年で4回目を迎えるサイクリングイベントで、順位を競わず、交通ルールを順守しながら初秋の日光を走行するものです。

当日は約47kmの日光サイクリングコースから約100kmの山岳チャレンジ日光コースまでの4



コースに1,976名のサイクリストが参加しました。

参加者たちは途中のエイドステーション(休憩所)で、蕎麦などに舌鼓を打っていました。

会社の仲間4人で参加した増瀬さん(宇都宮市)は「初めて参加しましたが、良い汗をかけました。来年は長いコースで参加します」と満足した様子でした。

月あかり花回廊

そばコン!

ツール・ド・NIKKO

アイスホッケーアジア
リーグ地元開幕戦



9月13日(土)、アイスホッケーアジアリーグの地元開幕戦が日光霧降アイスアリーナで行われました。今季のリーグ戦初戦をホームで迎えたH.C.栃木日光アイスバックス(以下、バックス)は、韓国のチーム、アニャンハルラと対戦しました。

0-2で迎えた第3ピリオド、新人の佐藤選手がゴールを決めるとスタンドは大盛り上がり。その後アニャンハルラに2点を追加されましたが、試合終了間際に地元出身の新人寺尾選手の鮮やかなシュートがゴールネットを揺らすと、会場全体から大歓声が巻き起こりました。

試合は残念ながら2-4で敗れてしまいましたが、最後まで攻撃を諦めないバックスの選手たちに、会場からは惜しめない声援が上がっていました。

